

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	ルピナス児童発達支援事業所		
○保護者評価実施期間	令和7年11月1日		～ 令和7年11月17日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	15	(回答者数) 9
○従業者評価実施期間	令和7年11月24日		～ 令和7年11月27日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6	(回答者数) 6
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年3月2日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	保護者へ、日々の子どもの様子や療育の内容を丁寧に伝えていく。定期的な面談や電話相談による信頼関係の構築。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・連絡帳で日々の様子を写真とともに伝えている。</li> <li>・定期的な面談を実施し、ご家庭での様子や保護者の思いを丁寧に聞き取っている。</li> <li>・保護者の就労状況に合わせて、電話連絡やメッセージ機能を活用している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・メッセージ機能の充実を図り、保護者がいつでも相談できる体制を整えていく。</li> <li>・保護者の困り感に対して、具体的な関わり方や手法の提案ができるよう努めていく。</li> </ul>
2	幼稚園や保育園、こども園への送迎や、園訪問を行い、園との連携を深めている。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・送迎時に子どもの一日の様子や、支援内容を共有している。</li> <li>・園の先生に事業所での様子を見ていただいたり、ルピナス職員が園の様子を見に行ったりすることで、連携して子どもの成長を支援できるように取り組んでいる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・園の負担にならない範囲で、園訪問を定期的に行っている。</li> <li>・就学に向けて小学校との連携を図っていく。</li> </ul>
3	安全面に配慮した設備。空間を活用した療育の提供。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・安全面に配慮し、スロープや手すり、クッションフロア、エレベーター等を完備している。</li> <li>・施設内調理の給食を提供している。</li> <li>・空間を活用した運動遊び(ブランコやトランポリン、ボールプール)や、園庭遊び(プール、シャボン玉、寒天遊び)、室内遊び(新聞紙遊び、机上遊び)等を行っている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子ども達の動きを予測し、継続して安全に過ごすことができる環境を整えていく。</li> <li>・机・椅子等の位置や、各部屋の使い方を工夫していく。</li> </ul>

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	保護者同士が交流する機会が少ない。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・園への送迎が主であり、保護者同士が会う機会は少ない。</li> <li>・保護者の就労状況に合わせた交流の場の設定が難しい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保護者のご希望のもと、保護者会や保護者参観会を検討し、保護者同士が交流できる機会を増やしていく。</li> </ul>
2	地域や他園との交流が十分ではない。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ハロウィンやいもほり等の行事で、姉妹園と交流する機会はあったが、十分ではない。</li> <li>・事業所内での活動が多く、公共施設の利用が少ない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・近隣の姉妹園の施設と交流できる機会を増やしていく。</li> <li>・交流イベントの様子をお便りや連絡帳を通して、保護者の方に知らせていく。</li> </ul>